

# 津山高校 県南クラブ

第20号

2014年7月25日発行  
津山高等学校同窓会  
岡山県南支部会報

## 平成25年度総会・懇親会を開催

### 支部長に草野氏再任

県南支部の平成25年度総会・懇親会を昨年10月27日、アークホテル岡山（岡山市北区）で開催しました。約90人が出席。同窓会本部から杉山知子副会長、母校からは有元茂校長らにご出席いただきました。

草野支部長の挨拶後、杉山副会長と有元校長に祝辞をいただき、有元校長は24年度から5年間の指定を受けた文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」（SSH）について説明。SSHは世界を舞台に活躍できる研究者の育成を目指すもので、多彩な研修行事が展開され、生徒が意欲的な研究に取り組んでいる様子が紹介されました。

総会では平成23、24年度の事業報告と収支決算報告=5参照=が原案通り承認されました。任期満了に伴う役員改選も行われ、支部長には草野功氏（昭和31年卒）が再任されました。

この後、金沢大学名誉教授・安東醇氏（昭和29年

卒）の記念講演「放射能・放射線と私たち」がありました。

続く懇親会では、この日の出席者で最高齢の中野茂生氏（昭和23年卒）の音頭で乾杯し、懇親の輪を広げました。懐かしい津山の話とおいしい料理で雰囲気は盛り上がり、用意した作州の銘酒も好評でした。同好会の活動発表もありました。

今回の総会・懇親会は平成27年秋の予定です。ぜひご出席ください。

支部長以外の主な役員は次の通り。（敬称略。いずれも任期は次期総会までの約2年間、新任以外は再任）

副支部長 土佐直樹（昭和43年卒）=新任、赤田修司、後藤正子（以上42年卒）松本健五（45年卒）  
▽代表幹事 片山淑雄（45年卒）▽副代表幹事 安東官（46年卒）=新任、神土純子（42年卒）



写真はいずれも平成25年度総会・懇親会





## 喜寿に思う

支部長 草野 功

昭和31年3月に津山高校を卒業以来58年が経過し、数え年77歳の喜寿を迎える年となりました。岡大医学部卒業後1年間の津山中央病院でのインターンを終え、医師国家試験に合格後、臨床医師として半世紀、51年間働いたことになります。

今年5月15日、津山国際ホテルで行われた津山高校昭和31年卒業(第7期)の同期会に久しぶりに参加いたしました。プログラムによると、昨年、同期の者は喜寿を祝ったようですが、私は昭和13年3月の早生まれでしたので、皆より1年遅れということになりました。

判明している限り、同期生550名中、男性67名、女性30名の2割足らずの同期生がすでに亡くなっていることになります。名簿を拝見し、60年前の懐かしい顔が脳裏に浮かんできました。

岡大医学部では昭和13年3月生まれの同期生が3人いましたので、医学部在学中から「33会」と称して毎年3月に持ち回りで誕生会をしていました。最近は途切れ途切れになってしましましたが、毎年、出身地の同期生が世話役になり、昭和37年卒同期会(37会)が行われているので、33会も便乗ということにしています。

医学部同期生も少しずつ少なくなり、同期生80名中、既に16名の同期生が亡くなり、さびしい思いをしております。

子供のころ、おじいちゃんに肩車してもらいながら剥げた頭をなでたりして遊んでいたころ、ものすごく年取った老人と思っていました。今考えると、そのころ感じていたおじいちゃんは、今の私よりもまだ若かったんだなと思い出されます。

平均寿命は世界一となりました。しかし、出生率は下がり、少子高齢化が加速されております。今後の日本の将来発展が心配されるとともに、認知症老人の増加が懸念され、岡山版『オレンジプラン』が策定されたところです。

長寿は喜ばしいことでありますが、元気でなければなりません。

昨日も100歳の世界記録を持った元気水泳おばあ

ちゃんがTV放映されていました。大変頼もしいことがあります。

人生の祝祭儀式は還暦60歳、古希70歳、喜寿数え年77歳、米寿88歳、卒寿90歳、白寿99歳、上寿かずえ年百歳といわれています。

「人生70古来稀なり」の時代から考えると、寿命の延びは著しいことです。社会経済の発展、医療の進歩が大きな要因であります。寿命が伸びただけで喜ぶことではなく、元気老人でなければなりません。そのためには社会全体で老人など弱者をケアする仕組みが大切であります。

本日は岡山県医師会・ケアマネ協会との話し合いがあり、国も進めている地域包括ケアシステムを医師会主導で行なうことが協議されたところです。

元気老人を育していくためには、医師のみならず、地域の存在する医療・介護・福祉資源を中心にその他の資源をうまく活用できるシステムの構築が、ぜひとも必要であります。私も喜寿を迎え、人生の最終コースに入り、毎日、元気に医療の現場で頑張っております。仕事が出来ることを無上の喜びとしている、この頃であります。

会員諸氏の今後ますますのご健勝とともに、県南支部同窓会の発展を祈念し、筆を下します。

<H26.5.31記>

(くさの・いさお。昭和31年卒。  
福島内科医院理事長)



県南支部の最新情報は  
ホームページで

県南支部のホームページでは、支部に関するニュース、同好会の活動状況などの最新情報が入手できます。ぜひアクセスしてください。アドレスは

<http://plus.harenets.ne.jp/~izayoi/> です。  
「岡山県南支部」で検索してください。



## キャリア形成に生きた英語

就実大学経営学部長 杉山 慎策



母校のことを「Alma Mater=アルママーターあるいはアルマメイター」という。元々の意味は Nourishing Motherという意味であり、慈悲深い母のことを指す。転じて母校、出身校のことを指す。私にとって津山高校はまさにこの「アルママーター」であり、私を育ててくれた掛替えのない母校である。

私は生来身体が弱く、実は小学校の時の成績が一番悪く、中学で少し良くなり、高校も3年生の時の成績が一番良い。段々と身体も小さな頃より強くなり、それにともない成績もよくなつたのだろうと思う。鏡野の山奥から一年の時は自転車で通学した。片道1時間、特に帰りは登り道ばかりなのでかなりの時間がかかった。二年からはオートバイ通学が許され、通学ははるかに楽になった。成績が二年から三年の時に少し上向いたのもそのお蔭なのかも知れない。

丁度団塊の世代の真っただ中で、熾烈な受験戦争に巻き込まれていた。多くの同期生も恐らく同じだと思うが、サークル活動などへの時間は殆どなく、高校での勉強に加えて塾に行くのが当たり前のような状態であった。私も大橋の近くの「磯山塾」に通っていた。恐らく多くの津山高校の卒業生がお世話になったと思う。磯山先生は時々講義を英語でするユニークな先生だった。私にとってそれは異次元の体験であった。

大学に入り、英語をやってみようと思い英語研究部に入った。一生懸命やることでかなりの力をつけることができた。大学にマックレモン先生というカナダ出身の先生がいらっしゃった。私が初めて英語でお話しした方で、「何だ、自分の英語でも通じるんだ。」という不思議な感慨を抱いた。

その後ロータリー財團の奨学生としてアメリカに留学することになり、私の英語は生かされることになった。幸い講義も100%ではないが、ほぼ7・80%は理解することができそれほど英語に苦労することはなかった。その後ビジネスの世界に入り、海外も通算で15年近く住むことになった。赴任地は幸いに英語圏だったのでそれほど苦労することなく現地での生活を楽しむことができた。

トインビー博士は「距離の抹殺=annihilation of distance」という概念を唱え、グローバル化が一層進展することを60年代に発表している。当時、それほどグローバル化を意識したわけではないが、世界共通語となったことで英語は私自身のキャリア形成に大きな役割を果たしてくれた。

就実大学の客員教授に就任いただいたゲーザ・フォン・ハプスブルグ大公との出会いはニューヨークのメトロポリタン美術館で開かれたレセプションの席であった。彼は欧州の名門中の名門ハプスブルグ家の子孫で、絶世の美女と言われたシシー（皇妃エリザベート）につながる人物である。彼とも直接英語で話し合うことができたので親しくなることができた。間違いなく英語は世界共通語としてのパワーを持っている。これから若い世代にも最低でも英語はマスターしておいて欲しいと強く思っている。因みに、彼の母国語はハンガリー語であり、他に英語、フランス語、スペイン語など7ヶ国語を話す。語学がそれほど得手でない日本人はせめて英語だけでも通じるようにしておきたいものである。

(すぎやま・しんさく。昭和42年卒)



## 魅力ある日本を次世代に

川崎医科大学総合外科学 教授 猪本 良夫

私にとっての津山高校への思いは、私たち劣等生にも愛情を注いでくださった素晴らしい先生方の思い出と、L章に表されるLiberal Arts(教養)の精神にみられるアカデミックで自由な文化の匂いで満たされています。その後の同窓の諸先輩、同級生、後輩の皆さんとの関わりも、私の人生をさらに豊かなものにしてくれているといつも深く感謝しております。

今も敬愛してやまないK先生の「君たちは、どういうつもりでそんないい加減な態度で勉強をしているのですか。皆さんのお父さん、お母さんはこのような産業の少ない津山という地で懸命に働きながらあなたたちを勉強させ、進学もさせようとしているのですよ。」というお言葉がいつも脳裏に浮かびます。K先生は瀬戸内海沿いの豊かな地域のご出身であったので、初めて赴任された津山の地で率直に感じられたことをわれわれに伝えてくださったのでしょう。中国山脈の津山盆地の人たちが生きていくためには、しっかり学問をして立身していくなければならないという厳しくも温かいメッセージであったことは後に知るようになりました。私は一浪して医学部に入ることができましたが、先生の様々な叱咤激励のお言葉が背中を押してくれたといつも感謝しております。

さて、最近、恐ろしいほどの未来予測が明らかとなっています。①人口減少のため2040年には、我が国の市町村など自治体の半数が消滅し、今世紀末には総人口が現在の1億2000万人台から5000万人台に落ち込む、②現在のわが国の債務残高1000兆円が、2060年には8000兆円と、国民一人当たり1億円近くの負債となる、③高齢者を支える生産年齢人口の比率が大きく低下して、「老人人口1人を働き手何人でささえのか」が、2.8人に1人(2010年)から1.3人に1人(2060年)となる、当然、年金制度の設計にも大きな影響があるなどです。政治の混乱、国民の無関心などの好ましくない状況の

中で、知らぬ間にこういった悪循環のスパイラルにわが国は陥っていったというところが事実なのかもしれません。

このような背景のもと、医療の世界でも大きな地殻変動が起ころうとしています。今春の診療報酬の改定は、今後のわが国における医療の枠組みを変えていく先駆けとなる内容となっています。2025年の大幅な医療供給体制の再構築を睨んで、「病院機能に合わせた効率的な入院医療の推進」に向け大きく踏み出した内容で、医療機関の人たちには少なからぬ衝撃が走っています。これまで国民が享受してきたこんかぎりの医療から、それなりの医療へと転換が始まっていることを感じる人たちも少なくないようです。財政が逼迫する中、医療：介護を必要とする後期高齢者が急速に増加し、一方でそれを支える人的資源が減少する背景に対応するための施策です。様々な受け止め方はあると考えられますが、医療現場では真正面から取り組んでいかなければなりません。

私の気に入っているテレビ番組に、「YOUは何しに日本へ?」があります。私たちの住む日本は大きな曲がり角にありますが、私たち以上に大変多くの海外の人たちがわれわれの気づいていない日本の魅力に引き寄せられていることに驚きます。私たちは自信と責任を持って、心豊かで魅力ある健全な日本を次世代に引き継いでいかなければならないと思っています。

最後に、この度、「県南クラブ」に寄稿をさせていただく機会をいただきましたこと、関係の皆様に深く感謝申し上げます。  
(なおもと・よしお。昭和46年卒)

猪本良夫氏は食道がん治療の権威者。執刀事例は国内屈指の約700例に上り、患者の5年生存率は国内トップクラスの6割を誇る。20年余の実績が評価され、がん撲滅に尽力した個人・団体を顕彰する山陽新聞社会事業団の第18回「松岡良明賞」を昨年9月、受賞されました。現在、川崎医科大学附属川崎病院副院長も務められています。

## 平成23年度 収支決算報告

### [収入の部]

(単位：円)

項目	金額	参考(21年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等会費	1,017,000	1,078,000	▲ 61,000	●出席者会費 (@7,000円×131人) ●来賓祝儀 100,000円
年会費収入	570,000	452,000	118,000	
広告収入	360,000	350,000	10,000	●@10,000円×36口
寄付金	255,000	165,000	90,000	●会報協力35,000円、岡山二人クリニック様他
繰入金	618,773	365,564	253,209	●前年度からの繰越
雑収入	8,549	89	8,460	●郵便貯金利息
合計(a)	2,829,322	2,410,653	418,669	

### [支出の部]

(単位：円)

項目	金額	参考(21年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等経費	1,311,476	1,172,988	138,488	●H23.10.16 ホテルグランヴィア岡山
印刷経費	310,279	302,081	8,198	●「県南クラブ」第17号印刷代他
通信経費	399,608	451,455	▲ 51,847	●「県南クラブ」第17号郵送代他
同好会支援	55,000	55,000	0	●@10,000円×5+@5,000円×1
広告料	19,425	19,425	0	●ホームページ作成料
雑費等	58,360	120,156	▲ 61,796	●振込手数料他
合計(b)	2,154,148	2,121,105	33,043	

【差引残額 (a - b)】 675,174円 → 次期への繰越金とする。

## 平成24年度 収支決算報告

### [収入の部]

(単位：円)

項目	金額	参考(22年度)	参考(増減額)	内容説明
年会費収入	451,000	687,000	▲ 236,000	
広告収入	350,000	340,000	10,000	●@10,000円×35口
寄付金	100,000	90,000	10,000	●会報協力50,000円他
繰入金	675,174	289,548	385,626	●前年度からの繰越
雑収入	24,080	11,032	13,048	●郵便貯金利息他
合計(a)	1,600,254	1,417,580	182,674	

### [支出の部]

(単位：円)

項目	金額	参考(22年度)	参考(増減額)	内容説明
印刷経費	298,604	269,325	29,279	●「県南クラブ」第18号印刷代他
通信経費	336,971	308,455	28,516	●「県南クラブ」第18号郵送代他
同好会支援	55,000	55,000	0	●@10,000円×5+@5,000円×1
広告料	19,505	47,731	▲ 28,226	●ホームページ
雑費等	58,995	118,296	▲ 59,301	●振込手数料、ビアパーティー景品他
合計(b)	769,075	798,807	▲ 29,732	

【差引残額 (a - b)】 831,179円 → 次期への繰越金とする。

## 監査報告

「津山高校同窓会 岡山県南支部」の平成23年度および平成24年度における経理内容について監査した結果、正確・適正に執行していることを確認したので報告します。

平成25年5月9日

会計監査 治郎丸 毅雄 ㊞

会計監査 鷹取 洋二 ㊞

●スーパーサイエンスハイスクール(SSH)米国研修●

# SSH海外研修リポート

Report

津山高校3年 石井いぶき

アメリカと聞いて一番に思い浮かぶのは世界の中心だということです。科学技術や医療、文化と言った様々な面で最先端をいっていって影響力が強い、というイメージが以前から私の中にありました。だから、一度は行ってアメリカという国を肌で感じてみたいと思っていたので、今回の研修に参加しました。

研修ではボストン大学、ハーバード大学、MIT、ゴダード宇宙センター、スミソニアン博物館群と、たくさんの場所に行き、貴重な体験をすることが出来ました。中でも、ボストン大学、ゴダード宇宙センター、スミソニアン自然史博物館が心に残りました。

ボストン大学では一日かけて研究室を8つほど回りました。筋肉の動き、脳の信号、人の歩き方など、各教授がユニークな研究を行っていました。研究内容や実験装置はもちろんすごかったです、どの教授もとても熱心に、楽しそうに話す

姿が印象的でした。私もそんな風に語れるような課題を大学で研究したいと思いました。また、教授方はフランクで親しみやすい雰囲気だったので、日本の大学と同じ感じなのだろうか気になりました。

ゴダード宇宙センターでは、ハッブル宇宙望遠鏡に次ぐ新たな宇宙望遠鏡、ジェイムズ・ウェップ宇宙望遠鏡の見学をしました。クリーンルームという髪の毛ほどの小さな埃さえない清潔な場所で造られていて、宇宙空間を再現してテストを行ったりしていました。現代の科学技術を駆使して作られたそれは、2018年打ち上げ予定で、私達にどんなものを見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

スミソニアン自然史博物館は、ワシントンD.C.の中心部にある博物館群の中の一つで、近くには国會議事堂や記念塔などがありました。さすがは世界のトップクラス、子供から大人まで大勢の人が来ていて、展示物はどれも興味が引



ボストン大学で研修する生徒ら

かれるようなものばかりでした。例えばバナナと人間、見た目は全く違いますが、遺伝子的には60%も似ているそうです。それだけでも、人間が特別じゃないとか、遺伝子のすごさとか色々なことを考えさせられました。博物館内は広く、いくつものブースに分かれています、半日しか居られないのが残念でした。さらに外には他の博物館や美術館もあるので、スミソニアン博物館の研修だけで何日も過ごせると思いました。

また、今回は研修に加えて観光もしたので、異文化に触れることも出来ました。

初日に行ったサンフランシスコでは自分達で立てた計画に沿って、フィルモアストリート、グレイス大聖堂、フィッシュマンズワーフを回りました。坂の町として有名な通り、急な坂が多く、移動はすべてバスを使いました。他の訪れた都市では地下鉄が主要だったので、バスが発達していたことは特徴的でした。フィルモアストリートとは道の名前で、その道沿いに店が立ち並ぶ商店街のようなところでした。近くにジャパニーズタウンがあるからか、日本食や着物

## 次々に進む新たな研究

(韓国、中国風なものもありましたが)の店もあり、外国人の思う日本文化を見て楽しかったです。グレイス大聖堂は160年の歴史を持つ教会で、中はとても美しかったです。初めて教会に行きましたが、神聖な雰囲気に魅了されました。フィッシュマンズワーフは有名な観光地名だけあって、人が多く、レストランや土産屋で大変賑わっていました。あのアルカトラズ島も意外と近くにあり、港から姿を見ることが出来ました。また、バスの運賃を払うときにお釣りが戻ってこなかったり、いくら急な坂だろうと無理やり路上駐車されていたこともここでの思い出です。



スミソニアン自然史博物館

夕方に時間が余った日には買い物に出かけました。4日間滞在したボストンでは、ブルテンシャル・センターとクインシー・マーケットという二箇所の大きなショッピングモールに地下鉄で行きました。

センターは大きな建物の中にあり、「WAGAMAMA」という変わった名前の日本食レストランがありました。一方のマーケットはもっと大きく、広場に何棟か集まる形で、お店もずらりと並んでいました。ユニークなものもたくさんあって楽しかったのですが、7時頃にはほぼ全ての店が閉まってしまい、驚きました。日本ではありえないことなので、これも文化の違いだなと思いました。またワシントンでは地元の人も使うスーパーマーケットにいき、あちらの生活スタイルが知れたので、ある意味ショッピングモールよりも楽しかったです。品物に関して、まず大きさが日本の倍でした。お菓子の大袋やジュース、手作りのホールケーキさえビッグサイズでした。さらに、それらは見た目が不健康そうなものも多く、緑色のカップケーキやドーナツが人気なのが不思議でした。おもしろお惣菜コーナーにおいてあったのですが、うわさで聞いていた通り、のりとご飯が逆で、ご飯でのりが巻いてありました。ちなみに、マクドナルドは日本と同じサイズと味だったので、健康を気にする人が増えてきている表れのように感じました。

そして、NBA観戦もしてきました。さすがは本場、会場には平日にもかかわらず大勢の客が来ていました。派手なパフォー



NBA 観戦

た。国家間の摩擦があり、互いに嫌ったりしているけれど、人としてはたいした違いもないんだなと思いました。

研修を通して私が気づいたことは、まず、私達が過去の人々の努力や発見による大きな恩恵を受けて生活している一方で、世界では新たな研究が次々となされている、ということです。今回訪れた研究所だけでも実際に様々な課題に取り組んでいて、一つ一つの実験は地味だったり、一見おかしな発明品もありましたが、それらは全て将来的には我々の生活を豊かにしてくれる可能性を含んでいます。また、MITの研究所では企業から派遣された日本人の研究員がおられたりして、科学の世界もどんどんグローバルしてきているんだとも感じました。今や科学にかかわりのない人はいません。人種はもちろん、理系文系関係なく、すべての人が科学の発展を支えていくべきだと思います。

次に、研修でサンフランシスコ、ボストン、ワシントンD.C.の三つの州に行き、同じアメリカでも全く違うことです。州独自の法律をはじめ、建物や町の雰囲気、文化も違って、州ごとで一つの国みたいでした。ますますアメリカの文化に興味が湧きましたし、こんなに広い国をどうやってまとめているのか、アメリカの政治の仕組みも知りたいと思いました。

そして、アメリカに行つたことで改めて日本の良さにも気づきました。これ

は、音楽や映画などの海外の文化が好きで、アメリカに憧れていた私にとって、とても大きなことでした。治安がよく、街はきれいだし、店員などのサービスがいいことなど、日本では当たり前だと思っていたけど、実は当たり前ではないことがたくさんありました。自分の国について、住んでいても知らないことは多く、外国人と関わるとき、相手の国だけでなく自分の国についても調べておくことが大切だと思いました。

私は将来世界を舞台にした仕事をしたいと思っています。今回の研修は始まりだと思って、もっと自分の知識を広げていきたいです。

津山高校は平成24年度、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)事業の指定を受けました。理数教育の拠点校としてハイレベルな取り組みを推進、科学分野で国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。期間は5年間。今年3月8~15日には2年生16人が米国海外研修に出かけ、ボストンやワシントンD.C.などで研修を行いました。参加者の一人、石井いぶきさんの研修リポートを掲載します。

ボストンのThe First Church of Christ前で  
(前列中央が石井さん)

## 将来、私も世界を舞台に

マンス、会場全体が一体となって応援する姿勢など、初めて体験して大興奮でした。選手はほぼ黒人で、客も大半が黒人の方でした。彼らにとっては誇りの一つなのかも知れません。

こうして観光地をめぐっていると、本当にいろんな人が出会い、日本人も結構見かけました。しかし、日本人だと分かったのは日本語を話していたからで、それ違っただけでは、日本人も韓国人も中国人も見分けがつきませんでし

第20号

# 津山高校 県南クラブ



## 田村皮膚科・泌尿器科医院

医学博士 田村 誠一郎  
(昭和19年卒)

〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目12番8号  
TEL (086) 222-4868 FAX (086) 222-4860



小野温子  
(昭和28年卒)

表町本店 Sunami ● TEL (086) 231-2455

## ハート&コミュニケーション 株式会社ソフィア

代表取締役 全本親民  
(昭和35年卒)

〒708-0033 岡山県津山市河原町29番地3  
TEL 0868-25-1000 FAX 0868-23-5800

白桃栽培  
蜂谷弘紀  
(昭和36年卒)

〒701-1202 岡山市北区樺津1427  
TEL・FAX (086) 284-2583  
ケイタイ 090-3178-4266  
E-mail hhachiya@sky.megaegg.ne.jp

藤井邦昭  
(昭和38年卒)

十六夜絵画クラブ  
後藤正子  
(昭和42年卒)

もう一度“青春”を始めませんか!! /

いざよい社交ダンス同好会 会員募集中

練習日時：毎月第2火曜日、第4火曜日  
13:30~16:00  
場 所：表町商店街  
「ソシアルダンススタジオ カリヨン」  
連絡先：大塚利子(昭和33年卒) TEL (0863) 51-2348  
福田富男(昭和40年卒) E-mail : fkdt@mx1.tiki.ne.jp

## 津山高校県南同窓会・絵画クラブ

洋画家 福島 隆壽  
(昭和25年卒)

光風会名誉会員・岡山支部代表  
日展会員・審査員・岡山日展会長  
岡山県展審査員

〒710-0013 倉敷市中蒂江833-48  
TEL (086) 425-9187

## カイロプラクティック 行成治療院

院長 松下行成

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7  
TEL (086) 474-6785

黒明 東洋治 (昭和33年卒)

## 福島内科医院

医療法人(社団) 福島内科医院  
サービス付高齢者向け住宅 ケアホーム静和  
理事長 草野 功  
(昭和31年卒)

〒700-0027 岡山市北区清心町3番18号  
TEL (086) 255-1281 FAX (086) 255-1388

外科・内科・胃腸科・整形外科・肛門科・理学療法科

医療法人 芳貴会

## 江原外科胃腸科医院

院長 江原 芳男 (昭和36年卒)

〒701-1342 岡山市北区加茂15-3 (自宅) 〒701-1211 岡山市北区一宮887  
TEL (086) 287-3300 TEL (086) 284-0544  
FAX (086) 287-3301 FAX (086) 284-0799  
Eメール : yebara@okym.enjoy.ne.jp

## 糖尿病

ご不安全をおもなの方のご来院を心よりお待ち申し上げております

糖尿病 専門医 岡田奏二 (昭和37年卒)

## 岡田メディカルクリニック

岡山市北区伊福町3-5-4  
TEL 086-255-2345

## JX日鉄日石エネルギー株特約店 大内石油株式会社

代表取締役社長 大内宏之  
(昭和37年卒)

本 社 岡山市北区御津金川 □ (086) 724-0844

花見きょう口営業所 □ (086) 254-2030 西大寺松崎営業所 □ (086) 943-1121  
篠港営業所 □ (086) 264-2520 セルフ岡山店S.S. □ (086) 724-1181  
二軒茶屋営業所 □ (086) 294-2304 金川営業所 □ (086) 724-0069

## 株式会社 和合

代表取締役 三谷敏之

■和合舗・聖母堂 〒701-1145 岡山市北区横井上106-1  
TEL/FAX (086) 294-8080

■和合新館・医薬店 〒701-0205 岡山市南区鈴尾3906-3  
TEL/FAX (086) 282-8989

■リハビリディサービス  
和合の郷 〒709-1131 岡山市北区御津瀬瀬536  
TEL/FAX (086) 724-5858

金川店 〒709-2133 岡山市北区御津金川1339-8  
TEL/FAX (086) 724-0850

三谷 達子 (昭和41年卒)

## なかやまクリニック

循環器科・内科・外科 他

特定健診

中山頼和  
(昭和42年卒)

〒701-0211 岡山市南区東畦112-38  
TEL (086) 282-4199

神土純子

(昭和42年卒)

第20号

# 津山高校 県南クラブ



## 岡山二人クリニック



林 伸旨

(昭和42年卒)

〒701-1152 岡山市北区津高285番地  
TEL (086) 256-7717  
FAX (086) 256-7667

土佐直樹

(昭和43年卒)

片山淑雄

(昭和45年卒)

## 元気を創る

## 岡山県経営コンサルタント事業協同組合

代表理事 安東 官 (昭和46年卒)

〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15  
岡山商工会議所816号室  
TEL (086) 225-0770

水と取り組む・実績と信用  
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工

 株式会社 佐藤管材工業

代表取締役 佐藤三平 (昭和46年卒)

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2  
TEL (086) 292-5311 代 FAX (086) 292-5188



有限会社 システムフロンティア

代表取締役 永禮一平  
(昭和46年卒)

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号  
TEL (086) 264-0326 FAX (086) 264-0326  
E-mail : nagare@s-frontier.co.jp  
URL : http://www.s-frontier.co.jp/

## 光成法律事務所

弁護士 光成卓明

(昭和48年卒)

〒700-0816 岡山市北区富田町1-3-15 グランデール2階  
TEL (086) 224-2809 FAX (086) 224-2819

## 公益財団法人林精神医学研究所 林道倫精神科神経科病院

岡山ひだまりの里病院・けやき通りメンタルクリニック

院長 林 英樹 (昭和52年卒)

〒703-8520 岡山市中区浜472番地  
TEL (086) 272-8811  
E-mail hama472@po.harenet.ne.jp



水と空気を管理する  
山陽技研株式会社

代表取締役社長 井上 沙緒 (昭和53年卒)

空気調和、給排水衛生設備工事 設計施工  
設備設計一級建築士事務所

本社 / 〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号  
TEL 086-231-0248 FAX 086-224-4765  
http://www.sanyo-giken.co.jp  
倉敷営業所 / 倉敷市北歐2丁目17番27号

 株式会社 両備システムソリューションズ

代表取締役社長 松田 久

社会全体でIT化が急速に進展する今、ビジネスにおいてITの有効活用は将来を左右する重要な課題です。私たちは、お客様のビジネスにおけるニーズを的確に把握し、最適化したITサービスをご提供し、様々なご要望に柔軟かつ迅速にお応えします。

本社 〒702-8006 岡山市中区藤崎564番の5  
TEL 086-200-0700 FAX 086-200-0712  
URL http://www.ryobi-sol.co.jp/

本店 (南区豊成) 東京支社 大阪支社



【歯は命につながっている】

医療法人社団 華光会

はなふさ歯科

院長 華房英樹 (昭和54年卒)

〒702-8026 岡山市南区浦安本町73-6  
TEL (086) 265-7007 FAX (086) 265-9226  
URL http://www.8723dental.com/

株式会社 オーノ

児童発達支援事業・放課後等デイサービス  
ぐるぐるめらん島・まる一つ村・もりもりめらん広場・おれんじ村  
日 中 一時 支 援 まーぶるの森  
特 定 相 談 支 援・障害児相談支援  
保育所等訪問支援

医療法人 大野はぐくみクリニック (旧 大野小児科医院)

(株)オーノ 代表取締役 / (医) 大野はぐくみクリニック 理事

大野 順子 (昭和61年卒・旧姓 友只)

〒700-0026 岡山市北区泰還町1-2-11

TEL (086) 254-7777

melonjima.net o-hagukumi.net

 税理士法人 石井会計

代表社員 税理士

齊藤司幸 (昭和61年卒)

〒700-0945 岡山市南区新保1107-2  
TEL (086) 201-1211 FAX (086) 201-1215  
URL http://www.ishii-cpa.com  
E-mail : ishiicpa@mx4.et.tiki.ne.jp

ふるさとの情報をその日のうちに届けします

県北の皆様とともに歩んで104年。

遠くに居ても当日の津山朝日新聞が読めるようになりました。

一面の立ち読みは無料、一部100円からお買い求め頂けます。

詳細は 新聞オンライン.COM

津山朝日オンライン

検索



津山朝日新聞

今号の発行に当たりましては、小林玉江様 (昭和23年卒)、安東醇様 (昭和29年卒)、竹本敷美子様 (昭和29年卒)、米戸金男様 (昭和29年卒)、齋藤和子様 (昭和33年卒)、筆保博文様 (昭和34年卒)、鷹取洋二様 (昭和39年卒)、小森章二郎様 (昭和42年卒) からもご芳志を賜りました。ありがとうございました。

## “広告協力者”を募集

「広告への協力はさせていただくが、名刺広告までは…」と言われる方を対象に、お名前だけを紹介させていただく“協力者紹介”という制度を設けています。ご芳志は一口5,000円以上となっております。来年の第21号でご協力が可能な方は支部事務局へご連絡ください。

## 福島さんが 倉敷市文化章を受章 長年の功績称える

十六夜絵画クラブのリーダー役を務める倉敷市在住の福島隆壽さん（昭和25年卒）が平成25年度倉敷市文化章を受章され、昨年11月3日（文化の日）、倉敷市役所1階市民ホールで、伊東倉敷市長から贈呈されました。

現在、福島さんは光風会名誉会員、日展会員などを務められています。多年にわたる絵画制作活動の中で数々の優れた実績を残し、同市の文化向上に貢献し、また岡山大学や青陵高校などで教鞭を執るなど後進の育成にも尽力された功績を称えるものです。おめでとうございます。

なお、この受章を祝う会が、今年2月2日、倉敷アイビースクエアで開催され、約160人の関係者が参会して祝賀の花を咲かせました。



福島隆壽さん



伊東市長から倉敷市文化章の表彰状を贈られる福島さん



## 釣り同好会



渓流釣りでの“大漁”に笑顔、笑顔、笑顔



## 十六夜絵画クラブ

毎月1回例会を開いているクラブです。

因みに昨年秋以後の活動は、9月＝通常の月と同じ岡西公民館で各自が自由に写生。素材は花でした。14名参加。

10月＝神戸市立博物館で開催中の「プーシキン美術館展—フランス絵画300年」を鑑賞。見ごたえのある絵画展でした。

11月＝岡山県総合グラウンドの公園で紅葉のカエデなどをスケッチ。12月＝午前中は公民館で写生。午後は忘年会を兼ねた昼食、豆腐料理がおいしかった。16名参加。

1月、2月、3月＝公民館は冬でも大丈夫、エアコンの部屋で花や野菜などを写生。

5月＝岡山市国富の安住院でスケッチ、後楽園の借景として有名な多宝塔などを写生、操山の若葉が映えました。

描く。観る。食べる。喋る。参加すれば、毎日の暮らしにちょっとだけ彩があるかもしれません。

■問い合わせ先 ☎086-279-7262 筆保博文さん



絵画クラブのメンバー

昨年10月14日、鳥取県境に近い美作市右手の渓流管理釣り場で、ヒラメ（アマゴ）とニジマスに挑戦しました。

目の前で魚を放流してもらい、釣り放題なのですが、警戒心の強い魚なので釣れるかどうか心配でした。が、思いのほか喰いがよく、皆の竿が次々になり、全員が大漁でした。

事務所でお土産用に塩焼きにしてもらい、全員大満足して帰宅しました。

今年も秋に釣行を予定しています。参加のご連絡をお待ちしております。

（18期・小森章二郎）

■連絡先は小森章二郎さん（☎086-270-2600）  
中山 賴和さん（☎086-281-9066）

# 同好会で一緒に



## いざよい社交ダンス同好会

### 近況報告と入会のおさそい

2005年に、県南支部会員を中心とする『いざよい社交ダンス同好会』を立ち上げてから、いつの間にか10年になろうとしています。表町商店街のダンススタジオで、月2回の練習日には一般のお客様たちとも一緒に楽しく踊ったり、会員同士で分かりにくいステップを勉強したり、また、3時頃にはコーヒーなどを飲みながらミーティングの時間を取り、連絡事項の伝達やそれぞれの近況報告などを行っています。その中から、美味しいものを食べに行ったり、クラシックのコンサートに行く話が纏まったり、旅行に行く事になったりとダンスだけではない楽しみも増えてきています。

いつまでも心とからだの健やかさを保つために、この楽しさをもっと多くのみなさんに知って頂きたいと思っています。今からでも間に合います！ ベテランの方も初心者の方も私たちと一緒にダンスを始めませんか!! お待ちしています。

\*詳しい練習日時等は、この会報の広告欄をご覧くださいませ。（昭和33年卒 大塚利子）



ポーズもばっちり。いざよい社交ダンス同好会のメンバー



## カラオケ同好会

毎月の最終水曜日が例会日です。岡山市北区田町の「カラオケナンバーナイン」に午前11時集合。昼食後、日ごろの練習成果を披露し合っています。気軽にのぞいてみてください。

■連絡先は皆木浩二さん（☎086-292-0626）



## 歩こう会

ここ最近、例会を開催できていませんが、少し歩いてみようかという方からのご連絡をお待ちしています。

■連絡先は蜂谷弘紀さん（☎086-284-2583）



## いざよいゴルフクラブ

### 第75回例会報告

梅雨に入り、雨を心配しながら、6月12日、赤磐市の山陽ゴルフ俱楽部で6月のコンペを開催し、11人が参加しました。朝は晴れ間の中、喜んでのスタートとなり、緑の美しいフェアウェイをのびのびと、「ナイスショット！」の掛け声でラウンドしました。



第75回例会の参加メンバー

しかし、後半は雲行きが怪しくなり、カミナリで15分ほど中断。茶店に集合し、ゴルフ講議に花を咲かせて、雨の中、元気に再スタート、無事終了しました。米井澄近さん（昭和27年卒）が見事、連続優勝されました。「大先輩に負けてられない。次回は阻止しよう」と誓い合って散会しました。

次回は9月下旬を予定しています。

参加希望者は鳥居節子さん（電話090-7977-8460）にご連絡ください。

最近1年間の成績は以下の通りです。

開催回・日時	場所	優勝	2位	3位
第72回(13.10.18)	岡山金陵カントリークラブ	渡辺 格	水内 次男	神橋 二郎
第73回(13.12.19)	たけの森ゴルフ俱楽部	難波 哉	井本 孝道	原田 民子
第74回(14.4.4)	岡山カントリークラブ桃の都コース	米井 澄近	富岡 謙二	阿井 道伸
第75回(14.6.12)	山陽ゴルフ俱楽部	米井 澄近	阿井 道伸	福田 富男

### 支部年会費ご納入のお願い

- 県南支部の活動は年会費（2,000円）によって支えられています。
- 年会費は会報「県南クラブ」の印刷・発送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられます。
- 納入は任意です。趣旨に賛同いただける方は会報と一緒にお送りしております郵便振込用紙で、ご納入をお願いいたします。

# 懇親ビアパーティーを9月6日開催

## 夏の疲れを癒しましょう

県南支部「懇親ビアパーティー2014」を9月6日(土)午後6時からアークホテル岡山(岡山市北区下石井2-6-1)で開催します。今年は総会・懇親会を行わないため、会員相互の親睦を図る目的で開きます。会費は4,000円です。

ビアパーティーではありますが、前回好評だった作州の銘酒を今回も用意します。アトラクションは、じゃんけん大会を予定しています。おいしいビールやお酒で夏の疲れを癒しながら、作州の話で盛り上がりましょう。気軽にご出席ください。

参加を希望される方は、同封しております料金受取人払の葉書に必要事項を記入し、8月20日までにご返送ください。なお、ご欠席の場合、ご返事は不要です。

事務局にご連絡がある方は、この葉書にご用件を記入し、投函してください。



### 同期会情報

#### ◆第19期同窓会(昭和43年卒業)

第19期卒業生(昭和43年卒)の同窓会が4月19日、岡山市の岡山全日空ホテルで開かれ、北海道から鹿児島まで88人の同期生がハイ・ティーの往時に戻って楽しく交流しました。

同期生全員に案内を出し、これだけ大勢が集まつたのは、津山市で開催した4年前の還暦同窓会以来のこと。会場のホテル最上階レストランを借り切り、クラスごとにテーブルに分かれて始まりました。

料理と酒が進むにつれて皆が席を移動し、あちこちにグループを作つて談笑。時間の経過とともにさらに盛り上がり、半数強が2次会のカラオケに参加しました。3次会、4次会へと進むグループもあり、シンデレラ・タイムを超えて午前様となった同期生も結構いたようです(私もその一人です)。

私たちは昭和24年4月～同25年3月生まれ、団塊世代の最終学年。競争にもまれて個性が強く、団結力も結構強い。そんな世代であると思います。次回の開催は70歳の節目ということになりますが、おそらくそれまでにクラス単位などのミニ同期会が次々に開かれることとなるでしょう。

(土佐直樹)



岡山全日空ホテルで開かれた第19期同窓会

### ●ミニニュース●

#### 津山朝日新聞社が「津山朝日新聞月刊」を創刊

津山朝日新聞社(津山市田町)が今年2月から「津山朝日新聞月刊」を発行しています。

タブロイド判16ページで、津山朝日新聞に掲載された岡山県北のニュースを月1回、抜粋して掲載。旬の出来事、独自の特集などが載つておらず、懐かしさや新しい発見が散りばめられた紙面となっています。同社は「県北の魅力を再認識してもらい、ふるさとのつながりを深めてもらえば」と話しています。

年12回発行で、購読料は1年間3,600円 2年間7,200円 3年間10,800円(全て送料、消費税込み)。問い合わせは同社(電話 0868-22-3135)まで。

#### 支部HPアドレスを変更

県南支部ホームページのアドレスを2月1日から <http://plus.haren.net.ne.jp/~izayoi/>に変更しました。

ブックマークに登録をされている方は新アドレスへの変更をお願いいたします。

#### 支部事務局を移転

県南支部の事務局を6月1日、移転しました。新しい住所は〒701-0205岡山市南区妹尾1120-25片山淑雄気付です。電話は090-4801-6483(片山携帯)となります。

#### 津山高等学校同窓会岡山県南支部会報「県南クラブ」第20号

2014年7月25日発行

発行人 草野 功 編集人 片山淑雄

発行所 津山高等学校同窓会岡山県南支部

〒701-0205

岡山市南区妹尾1120-25 片山淑雄気付

TEL 090-4801-6483

URL <http://plus.haren.net.ne.jp/~izayoi/>